

# 暮らしを楽しむ 暮らしを考える

## CSR女性会議

1965年の日野キャンパス移転以来、地域に根ざして研究・教育活動を行ってきた本学生活科学部。その成果を地域の皆さんと共有するため、生活科学部に設けられた4つの学科が主催する公開講座を開催しています。今年度のテーマは「暮らしを楽しむ 暮らしを考える」。現代生活学科が担当する第1回目は、「CSR（企業が社会に対して責任を果たすための活動）」と「女性」をキーワードに、内閣総理大臣夫人のほか、企業経営者としてご活躍される方々をお招きしてお話を伺いました。



司会：犬塚 潤一郎氏  
実践女子大学 生活科学部  
現代生活学科 教授

### 《講演》「実践する女性」が活躍する時代

行動派ファーストレディーとして知られ、「女性活躍推進」の象徴的存在でもある安倍昭恵氏。無農薬の米作りや店舗経営などご自身の取り組みをご紹介いただくとともに、活動の根底にある思いや、「行動する女性」の先輩として学生たちに贈る言葉などをお話していただきました。



安倍 昭恵氏  
内閣総理大臣夫人

#### ■何かを成し遂げたい時は、 まず声をあげる

結婚以来、私は安倍家の嫁としてまた国会議員・安倍晋三の妻として、人からどう見られているかをいつも気にしていました。けれどこれからは「安倍昭恵」として、世の中のために自分らしく発言し行動する女性になっていきたいと思っています。

私は今、東京・内神田で「UZU」という飲食店を営んでいます。東日本大震災の時、都会のお店から食品がなくなった様子を見て、食べ物を確保することが大切だと感じた経験が開店のきっかけとなりました。また、私

は山口県で無農薬の米作りもしており、安心して食べられる食材を東京の方々にも味わってほしいという思いもありました。何かをしたい時はまず声をあげることが大切です。私も「店をやりたい」と声をあげたことで多

くの人に助けられました。お店は現在も順調で、去年はオバマ米大統領夫人にも来店していただきました。

#### ■「考え行動する力」が、個人と国の可能性を拓く

「UZU」の名は、「アメノウズメ」という日本神話の女神から取ったものです。天岩戸に閉じこもった天照大神を引き出すため彼女が岩戸の前で踊りを披露したように、女性たちが心の殻を打ち破ってのびのびと活躍することが現代の岩戸開きにつながるのではないかという思いを込めました。UZUは「渦」にも通じます。これは違いがあるものが集まることで発生する現象だそうで、自分とは異なるものを巻き込むことで新しい渦を起こす、それがこれからは大切なのではないかと考えています。

日本の人々の特に素晴らしい点の1つは、どんな仕事も誇りをもって一生懸命に取り組むことだと思います。この美点に、自分自身で考え行動する力を合わせれば、日本の可能性はさらに広がるのではないのでしょうか。今、私は、社会を良くしようとがんばるたくさんの方といろいろなことに一緒に取り組んでいます。彼ら彼女らの様子を見るにつけ、この国の未来は明るいと感じます。学生の皆さん、どうか一生懸命に学んで、ご自身の力をこの国や世界のために大いに発揮してください。

### 《講演》女性リーダーシップの育成

日本マクドナルドの女性社長として業績向上をリードしている講師。講演では自身の来し方を振り返るとともに、マクドナルドにおける女性のリーダーシップ育成の施策や、日本においてビジネスを成長させるために女性をどのように活用しているのかについて、英語で紹介していただきました。

#### ■マクドナルドは「人が育成され、成長する場」

1955年にアメリカで設立されたマクドナルドは、今日、世界119か国で36,000店舗を構えています。日本では1971年に第1号店をオープンし、現在は2,900店舗を展開し120,000人以上の従業員を雇用して、年間10億人以上のお客さまをお迎えしています。マクドナルドは効率性で知られる企業ですが、私たちにはそれ以上に重要なものがあります。マクドナルドは人が育成され、成長する場であるということです。従業員はチームメンバーとして大事にされます。日本マクドナルドでもこれまでに創業以来300万人を超える従業員がトレーニングや昇進の機会を与えられてきました。

#### ■活躍するためには、女性自身も「Say yes!」を

マクドナルドにとって、人を大事にすることは優先事項で、特に女性のリーダーシップを重視しています。その理由は、お客さまの半分が女性であり、また女性が活躍の機会を未だ活かせずにいるためです。では、女性のリーダーシップを発揮させるため、私たちがどのようなアクションを行っているかをご紹介します。テーマは2つ、「ワークスタイルの変革」と「女性に自信をつけてもらうこと」です。前者では子育てと拘束時間が課題です。マクドナルドではフレックス勤務や技術活用でママパパも在宅勤務できるようにし、子育てがひと段落したらオフィス勤務に戻ることを可能

にしています。後者については、ジャパン・ウーマン・リーダーシップ・ネットワーク（JWLN）を創設。「どの職位でも半分は女性にする」というビジョンを掲げるとともに、ネットワークをつくり女性社員が社内外の人と交流することで知識や経験を共有できるようにしました。この取り組みを始めてから、女性の店長、管理職、役員の比率が大きく向上しました。

しかし、女性が会社で活躍するためには、女性自身も努力をしなければなりません。そのポイントは以下の3点だと私は考えます。



サラ・カサノバ氏  
日本マクドナルド（株）  
代表取締役社長兼  
最高経営責任者（CEO）

1. 毎日、会社と仕事について何か新しいことを学ぶ
2. メンター（仕事や人生の良き指導者・助言者）を持つ
3. あらゆるチャンスを受け入れる～ Say yes! ～

## 《講演》新グローバル時代の企業価値の向上 ～「発信型三方よし」と女性活躍～

世界的なビジネス誌『FORTUNE』で「世界を変える企業 50 社」に選定された伊藤園。そこで CSR 推進部長として活躍されている講師に、伊藤園における CSR 活動の実例などについてお話しいただきました。また、これからの CSR 活動に対してユニークな提言をいただきました。

### ■【協創力】の実現と、経済価値の創出を両立するために

これからのグローバル時代において課題となるのが「持続可能な社会づくり」です。それには、産業界と行政・教育・金融・メディア・NPO/NGO の連携・協働による活動の共通基盤（プラットフォーム）を確立 [協] して、共有価値を創造する [創]。さらに、こうした取り組みを理解できる人材を育成し、発信力を高める [力]。この [協創力] が重要だと考えます。

こうしたことを背景に、企業に何ができるか。社会の持続可能性と、企業の使命である経済価値の創出を同時に実現するために私が提唱したいのが「発信型三方よし」です。社会対応力を高める（CSR）とともに、共有価値を創造する（CSV, Creating Shared Value）。企業とパートナーと社会、Win-Win-Win の関係をつくるとともに、取り組みについて積極的に情報発信していくスタイルです。

### ■プラットフォームを構築して、女性活躍を後押し

伊藤園における実例として、九州 4 県（宮崎・大分・鹿児島・長崎）で進めている「茶産地育成事業」があります。これは農家に生産技術やノウハウを提供して耕作放棄地も活用した新産地を育成し、できた茶をすべて

伊藤園が購入する取り組みです。また、茶飲料の製造工程で発生する茶殻のリサイクル方法を研究して「茶殻リサイクルシステム」を開発。茶殻の一部を段ボールや名刺用紙、脂取り紙などの原料に活用してゴミ排出量の低減を図っています。こうした取り組みが評価され、当社はアメリカのビジネス誌『FORTUNE』2016 年 9 月 1 日号で「世界を変える企業 50 社」の 18 位に選ばれました。

持続可能な社会を実現するための取り組みでは、関係者の多様性を尊重し、女性を含めそれぞれの個性を発揮させることが重要です。女性活躍推進においてもプラットフォームをつくり活用していくことがカギになります。当社でも「ティーテイスター制度」を活用して女性社員も国内各地で海外観光客にグリーンティの説明を行うなど、女性活躍に向けた施策を実施しています。「Communi“tea”～世界に茶文化の浸透を～」に向けて、これからも女性社員に活躍してもらいたいと考えています。



菅谷 秀光氏  
(株)伊藤園  
常務執行役員 CSR 推進部長

## パネル・ディスカッション

3 つの講演を踏まえ、本学現代生活学科の学生が「暮らしを考える—現代の根本問題と未来の社会を考えることから」と題して問題提起するプレゼンテーションを実施。その後、講師の方々より、提起した問題へのお考えと、学生たちへのメッセージをいただきました。

### 【学生からの問題提起】

私たちはマクドナルドや伊藤園の取り組みを研究し、そこに「人や地域の特異性への尊敬と、責任の認識」を感じました。こうした、新たな企業経営の中に、私たちは新しい社会の表れや兆しを感じます。私たちの認識は正しいでしょうか？



### 【問題提起への答え・メッセージ】

**安倍:** 学生の皆さんは、世の中が変わっていくことを肌で感じ、それに自分たちはどう対応していくべきかを考えていらっしゃる感じました。特異性に関して、私は「常識を疑う」、これまで当たり前とされてきたことも含め、いろいろなことを若い感性で疑う気持ちが大切だと考えます。また、「変人こそが世の中を変えていく」とも思っています。人と違うことに臆さず、自分の「変わっている点」を個性として主張できる人たちが、世の中を変えていくのではないのでしょうか。

**サラ:** とても興味深い指摘だと思います。マクドナルドのマーケティングの対象は、以前はマスの消費者でしたが、今では個人になっています。ハンバーガーも以前はすべてのお客さまに同じレシピでご提供していましたが、今はお客さまのご要望にも対応するようにしています。社会は変わり、人々はそれぞれが自分を特別に扱ってほしいと考えています。これがビジネスにどのような意味を持つか、考えることがとても重要だと思っています。

**菅谷:** 多様な属性の人が参画し、それぞれのアイデアを出し合わない

富士山や和食が象徴するような「価値あるもの」を守り、次代に受け継いでいくことが難しくなっています。皆がそれぞれできることをして、さらにその考えや取り組みを発信することが大切なのだと思います。その意味で、ご指摘のように「特異性の尊重」を重視しています。人と人の出会いもまた重要で、今日のような機会はとても貴重ですね。みんなで学んでみんなで進化する、「この国の未来は明るい」という安倍さんの言葉、私も大賛成です。



▲学生から寄せられたテーマに真摯に向き合い、お答えくださった講師の方々。



▲当日は学生のほか、たくさんの市民の方にご来場いただきました。

## 来場者アンケートから（抜粋）

- 女性が活躍できる場も多いのに、そのチャンスを女性自身が逃している面も多々あることがわかりました。前向きに挑戦できる女性になりたいと思いました。（女性・20歳代・日野市在学）
- 女性のキャリアの進め方について、自信をもって「Say yes」ということで変革の機会が訪れるというメッセージを講師の方々のお話から強く感じ、共感しました。（女性・40歳代・その他）
- 企業の成長や日本の発展に貢献するために、今の自分には何が必要か考えさせられる講座でした。（女性・20歳代・日野市在住）
- 仕事で女性と協働する機会がありますが、私の周りの優れた女性は皆、強力な「マルチタスク」スキルを持っています。私自身、男性より女性の方がリーダーに向いているのではないかと感じていたことを、今回の講座で振り返りました。（男性・40歳代・日野市在住）